

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 槻田 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

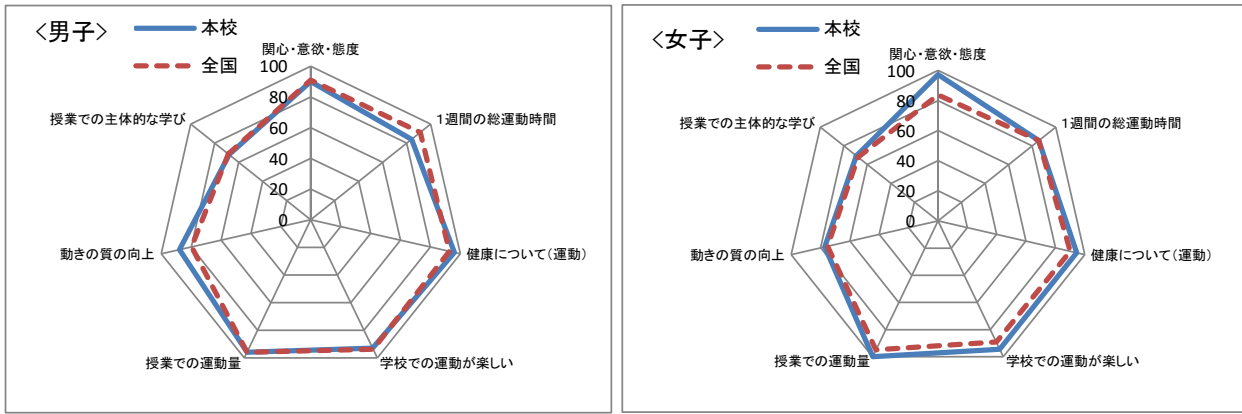
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



動きの質の向上

男子は、「運動やスポーツは大切(健康について)」「自分の動きの質が向上している(動きの質の向上)」について、全国平均を上回った。「運動やスポーツが好き(関心・意欲・態度)」「体育の授業時間以外でも運動やスポーツを行っている(1週間の総運動時間)」において、全国平均を下回った。女子は、「1週間の総運動時間」以外は、すべての項目で全国平均を上回った。特に、「運動やスポーツが好き(関心・意欲・態度)」は、全国平均を大きく上回った。

「運動やスポーツは大切(関心・意欲・態度)」と感じており、「自分の動きの質が向上している(動きの質の向上)」と実感することができている。今後も学校生活の中で、さらに高めていけるような取組や学習を進めていく。

一方、「1週間の総運動時間を増やす」ことができるような取組を検討する必要がある。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

来年度も、「わかる・できる」をねらいとする学習を目指す。動きのポイントを示し、ICTを活用しながら、「動きの質の向上」を実感させ、スモールステップで段階的に活動できる工夫で「運動やスポーツが好き」になるような学習活動を実践する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体育の学習時間以外で運動やスポーツを行う機会を計画する。「いきいきスポーツ週間」の取組が今年度は大縄の1回だったので、来年度は、各学期に1回様々な運動の実施に向けて計画をし、児童が進んで運動に取り組む姿を増やす。